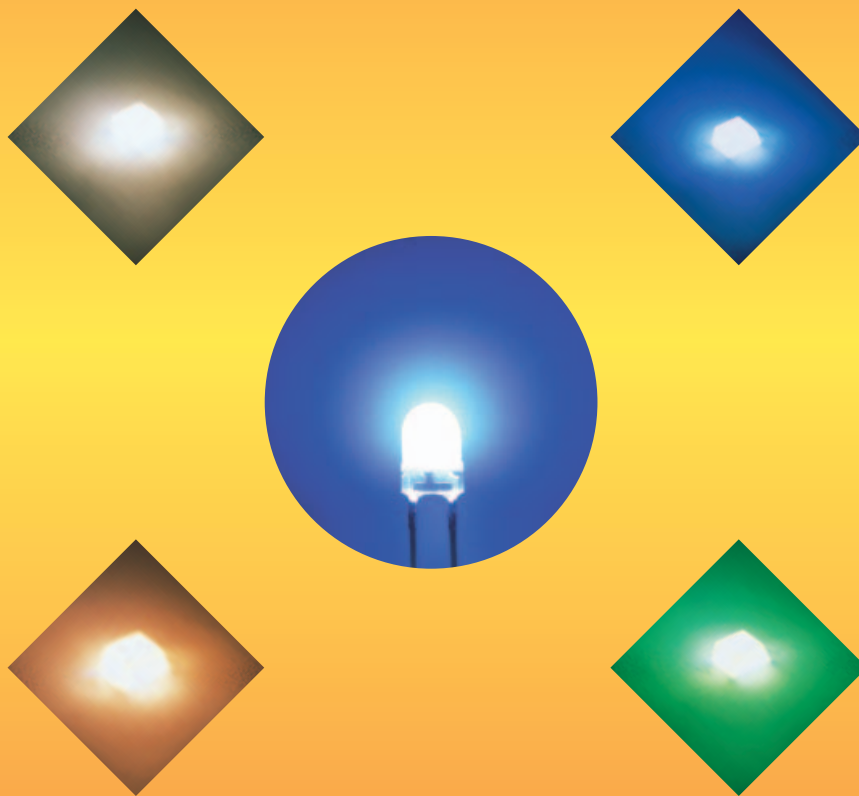


# 株主の皆様へ

## 第34期事業報告書

(平成15年4月1日～平成16年3月31日)





## 中期経営計画の達成に向けて



代表取締役社長

横山林吉

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、ここに当社第34期（平成15年4月1日から平成16年3月31日まで）事業報告書をお届けするにあたりまして、一言ご挨拶申し上げます。

昨年6月に、創業者の伊藤 巖前社長のあとを継ぎ、代表取締役社長として就任して以来、株主の皆様を支えられ、業務に専念できましたことを心から感謝申し上げます。

当社は、当期からスタートいたしました第8次中期経営計画では、「お客様に満足いただく製品・サービスを提供し、社会に貢献する」「独自の製品開発、素材開発で、参入する分野でのトップシェアを狙う」を基本方針として取り組んでおります。そこには、変化し続ける市場とお客様のニーズに対応するために、従業員全員のたゆまぬ創意工夫と改善努力の風土を育てていくという思いを込めております。

当期の業績は、売上高34億5百万円（前期比9.7%増）、経常利益1億8千5百万円（前期比29.1%増）、当期純利益9千万円（前期比48.8%増）となり、当初計画どおりの実績をあげることができました。当期は、開発製品でありますLEDホワイトキャップの本格的な量産がスタートし、受注も大幅に拡大しております。また、超透明シリコンの製品化に向けた取り組みも進んできており、これからの飛躍が期待できます。当社独自の新製品や開発製品も伸長してきており、従来の枠を超えた新しい発想によるものづくりも生まれております。これらの動きは既存製品の生産にも効果をあげ始めており、中期経営計画の目標達成だけでなく、今



当社は工業用ゴム製品を主力とするメーカーとして  
独自に開発した技術を駆使し  
電球彩色用ゴム製品では世界トップシェアの  
「アサ・カラー」をはじめ  
弱電用高精度ゴム製品、医療・衛生用ゴム製品、  
スポーツ用ゴム製品など  
さまざまな分野に独創的な製品を送り続けてきました。  
最近では、LEDの光に豊富なカラーバリエーションを  
付加した「LEDホホワイトキャップ」、光透過性、耐熱性、  
耐紫外線性に優れた素材「超透明シリコン」、ゴムと樹脂、  
ゴムと金属との複合製品など、接着剤不要な環境にも  
やさしい「SLAT製品」など、より高品質、高性能、  
高機能な製品を提供し続けるとともに、研究開発力の強化や  
厳格な品質保証システムの構築を図っています。  
「お客様第一」を基本理念とする  
お客様のニーズに応えるスピーディーな対応によって  
抜きん出た市場競争力をさらに強力なものとしています。

後も当社が市場やお客様のニーズに応え続けていくための大きな  
弾みとなっております。

来期は中期経営計画の中でも最も重要な年であると位置づけて  
おります。当社独自の新製品や開発製品の市場投入の加速、既存  
の主力製品のシェア拡大など、なお一層の業績向上に向け、全  
力で取り組んでまいり所存であります。

配当金につきましては、来期より中間配当を実施し、普通配当  
金を2円増配して、1株当たり年間配当金を12円といたします。  
今後とも株主の皆様のご期待に沿えるよう努力してまいりますの  
で、より一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成16年6月



## REVIEW OF OPERATION

### ●営業の経過及び成果

当期におけるわが国経済は、前半はイラク戦争の影響や厳しい雇用情勢など景気の先行きに不透明感が漂う中、後半からは輸出の好調に支えられながら、企業収益は製造業を中心として徐々に改善の傾向が見られてきました。さらに、民間設備投資が増加に転じ、個人消費も回復傾向が見られるなど、国内景気は緩やかな回復の兆しが表れはじめました。

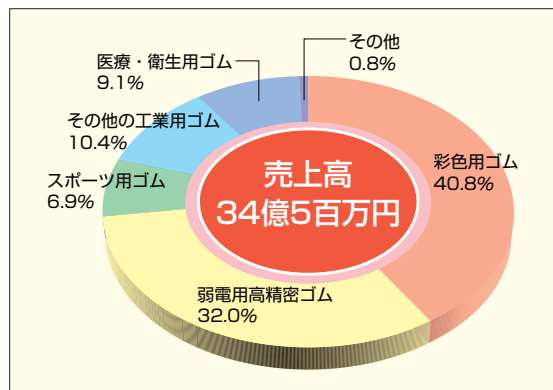
工業用ゴム製品を扱う業界におきましては、自動車関連製品は自動車生産台数の微増推移や電子機器及び通信機器関連製品の増産による改善が見られたものの、引き続き海外生産移転による価格競争の激化などにより、全般的には横ばいで推移いたしました。

このような環境下において当社は、当期からスタートいたしました「第8次中期経営計画」のもとに、開発製品の積極的な市場参入、既存製品の徹底した改善による品質向上と拡販、一層の合理化による経費削減を推進し、お客様第一を掲げて諸施策に取り組んでまいりました。

この結果、売上高は34億5百万円（前期比9.7%増）、経常利益は1億8千5百万円（前期比29.1%増）、当期純利益は9千万円（前期比48.8%増）となりました。

主要製品群別の概況は、以下のとおりであります。

＜製品群別売上高構成比＞



### ●主要製品群別の概況

#### [工業用ゴム事業]

##### ＜彩色用ゴム製品＞

当社独自開発製品のアサ・カラー（小型電球彩色用のゴム）は、車載機器の光源が電球からLEDへ変化することに伴う売上減少により、前期比17.5%減となりました。一方、開発製品のLEDホワイテキャップ（LEDの光に豊富なカラーバリエーションを付加する彩色ゴム）は、車載機器の照明分野に向けて本格的な量産がスタートした結果、売上高は2億4千4百万円（前期比279.9%増）となり、主力製品としてのポジションを確保いたしました。また、新分野展開に向け開発した超透明シリコーンについても用途拡大に努め、1億1千4百万円（前期比808.4%増）となりました。

以上の結果、彩色用ゴム製品の売上高は13億4千9百万円（前期比6.4%増）となりました。





#### 〈弱電用高精度ゴム製品〉

電子機器、通信関連機器や情報関連機器向けの弱電用高精度ゴム製品は、パソコン、携帯電話や家電製品等に使用されており、海外生産へのシフトによる厳しい価格競争の中、顧客ニーズに対応するための高機能化と複合化に積極的に取り組んだ結果、売上高は11億7百万円（前期比11.6%増）となりました。

#### 〈スポーツ用ゴム製品〉

スポーツ用ゴム製品は、当社の得意とする高品質・高性能製品を中心とした受注活動、積極的な新機種の量産化に努め、売上高は2億5千4百万円（前期比19.5%増）となりました。

#### 〈その他の工業用ゴム製品〉

その他の工業用ゴム製品は、新たな開発製品の量産化、新機種製品の受注獲得により、売上高は3億4千4百万円（前期比6.8%増）となりました。

以上の結果、工業用ゴム事業としての売上高は30億5千6百万円（前期比9.3%増）となりました。



#### [医療・衛生用ゴム事業]

##### 〈医療・衛生用ゴム製品〉

医療用ゴム製品は、価格的には厳しいものの既存製品のシェア拡大及び新規取引先開拓により、売上高は前期比20.7%増となりました。

また、衛生性、通気性、衝撃吸収性を追求した衛生用ゴム製品は、用途開発、試作品の提供や販売ルートの確立に積極的に取り組み、売上高は前期比6.2%増となりました。

以上の結果、医療・衛生用ゴム事業としての売上高は3億3千9百万円（前期比20.2%増）となりました。

#### [その他]

##### 〈その他〉

その他の製品では、他事業への資源の集中に伴い受注活動の展開を控えた結果、売上高は1千万円（前期比62.0%減）となりました。



### 超透明シリコーンの展開始まる

超透明シリコーンの耐熱性、耐紫外線性、成形性など優れた特性をいかして、取引先と協力しての製品化が進んでいます。また平成15年5月には、その光透過性から、携帯ゲーム端末の液晶画面用の視認性向上シートへの展開も開始されました。素材の優れた特性を証明する製品であり、今後は様々な分野で応用製品を開発してまいります。



超透明シリコーン

### 月間MVP、年度表彰制度始まる

第8次中期経営計画の方針である、創意工夫と改善努力の風土を育てることを目的にして、各事業部ごとに選出される月間MVP制度が平成15年10月度から始まりました。また年間で最も優秀な活動を行った従業員に対しては年度表彰として表彰いたします。これは経営方針に沿うと同時に、大変な熱意と努力で実績を残した方たちに敬意を表し、会社として表彰する制度です。今34期は、年度表彰は24名が表彰され、賞金と記念品の盾が授与されました。これらの表彰制度と公正・公平な人事制度のもと、従業員の目標達成意識を高めながら目標達成に向けて活動しています。



年度表彰を受賞した、LEDホワイトキャップ車載市場への拡売チーム



## LEDホワイトキャップの量産が本格化

LEDホワイトキャップの量産が本格化いたしました。自動車関連の照明市場を重点分野に設定し、営業と技術部門が一体となって拡販に努めた結果、大幅な受注増を獲得し、今期は売上高が2億4千万円となり、主力製品としてのポジションを確保いたしました。さらに生産ラインを追加して受注体制を強化し、販売に努めてまいります。また平成16年2月からの六本木ヒルズのイルミネーションに採用されるなど、製品の持つ優れた特徴と品質の高さを評価いただいています。



六本木ヒルズのイルミネーション「ルミ・フローラ」

## 上海駐在事務所開設

平成16年6月1日、米国のARIインターナショナルに続く海外拠点として、中国上海市に駐在事務所を開設いたしました。取引先の生産拠点や販売拠点の海外シフトに対応するため、市場及び取引先の情報収集、取引先開拓、技術支援などを行ってまいります。



上海市街

批准書

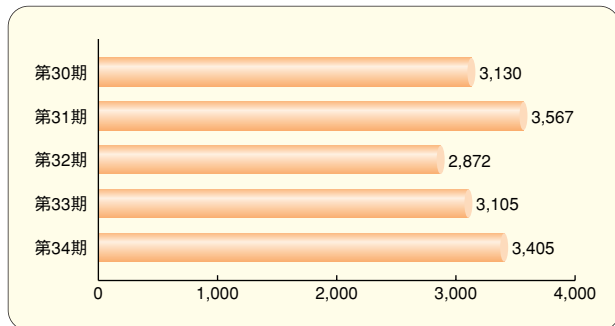




## FINANCIAL HIGHLIGHTS

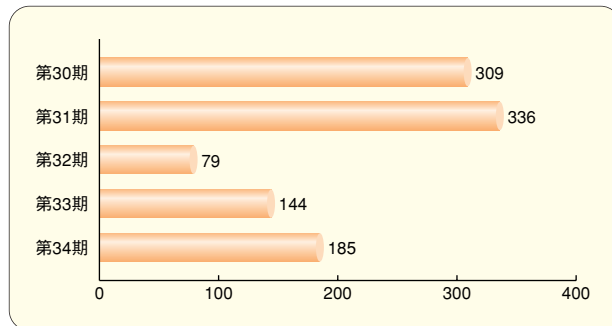
### 売上高 (単体)

(単位：百万円)



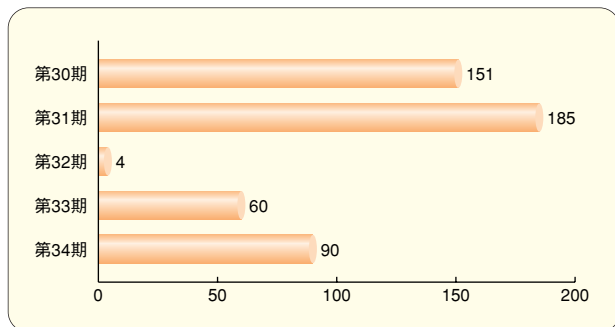
### 経常利益 (単体)

(単位：百万円)



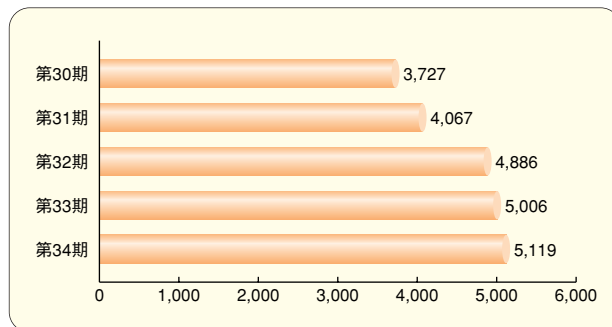
### 当期純利益 (単体)

(単位：百万円)



### 総資産 (単体)

(単位：百万円)



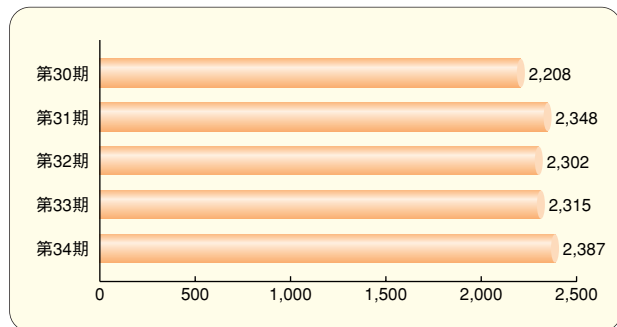
### ■主要財務データの推移 (単体)

科目	第30期 平成12年3月期	第31期 平成13年3月期	第32期 平成14年3月期	第33期 平成15年3月期	第34期 平成16年3月期
売上高 (百万円)	3,130	3,567	2,872	3,105	3,405
経常利益 (百万円)	309	336	79	144	185
当期純利益 (百万円)	151	185	4	60	90
総資産 (百万円)	3,727	4,067	4,886	5,006	5,119



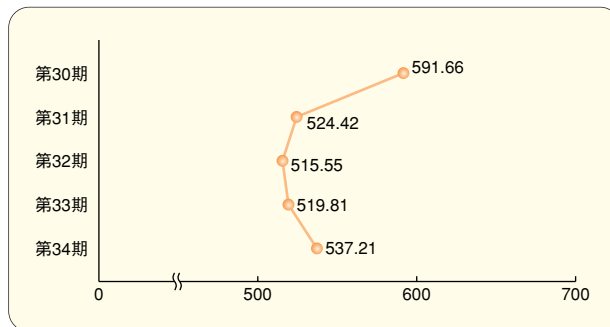
### 純資産 (単体)

(単位：百万円)



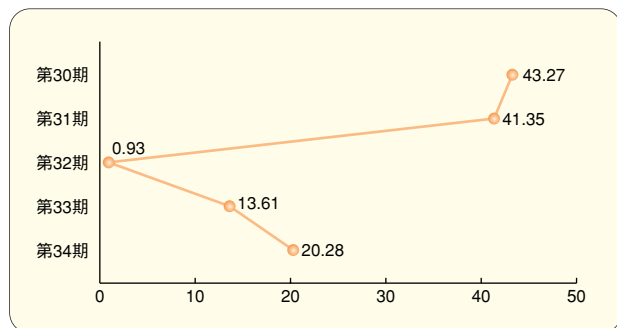
### 1株当たり純資産額 (単体)

(単位：円)



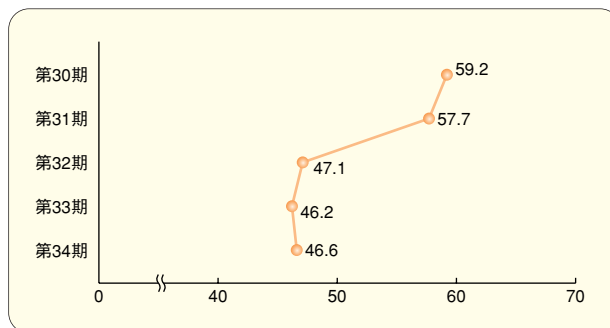
### 1株当たり当期純利益 (単体)

(単位：円)



### 株主資本比率 (単体)

(単位：%)



科 目	第30期 平成12年3月期	第31期 平成13年3月期	第32期 平成14年3月期	第33期 平成15年3月期	第34期 平成16年3月期
純 資 産 (百万円)	2,208	2,348	2,302	2,315	2,387
1株当たり純資産額 (円)	591.66	524.42	515.55	519.81	537.21
1株当たり当期純利益 (円)	43.27	41.35	0.93	13.61	20.28
株 主 資 本 比 率 (%)	59.2	57.7	47.1	46.2	46.6



# FINANCIAL STATEMENTS

## 連結貸借対照表 (平成16年3月31日現在)

(単位：千円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
流 動 資 産	2,704,874	流 動 負 債	1,379,985
現金及び預金	1,234,837	支払手形及び買掛金	488,786
受取手形及び売掛金	1,233,777	短期借入金	246,800
たな卸資産	157,472	一年内返済予定の長期借入金	320,298
繰延税金資産	40,038	未払法人税等	45,104
その他	49,933	その他	278,997
貸倒引当金	△ 11,185	固 定 負 債	1,393,130
固 定 資 産	2,499,184	社 債	700,000
有形固定資産	1,972,848	長期借入金	375,180
建物及び構築物	864,778	退職給付引当金	197,172
機械装置及び運搬具	441,815	役員退職慰労引当金	119,335
土地	559,205	その他	1,442
その他	107,048	負 債 合 計	2,773,115
無形固定資産	4,268	資 本 の 部	
投資その他の資産	522,068	資 本 金	479,350
投資有価証券	177,289	資 本 剰 余 金	420,590
繰延税金資産	82,760	利 益 剰 余 金	1,518,167
その他	286,197	その他有価証券評価差額金	40,049
貸倒引当金	△ 24,180	為替換算調整勘定	△ 6,552
資 産 合 計	5,204,059	自 己 株 式	△ 20,660
		資 本 合 計	2,430,943
		負 債 ・ 資 本 合 計	5,204,059

(注) 記載の金額の千円未満は切り捨てて表示してあります。



## 連結損益計算書 (平成15年4月1日から平成16年3月31日まで)

(単位：千円)

科 目		金 額	
経常損益の部	営業収益		3,449,849
	営業費用		2,268,357
	販売費及び一般管理費		948,297
営業外損益の部	営業利益		233,193
	受取配当金	1,529	
	補助金等収入	3,100	
	雑収入	8,875	13,506
	営業外費用		
	支払利息	16,903	
社債発行償却	3,649		
為替差損	11,999		
雑支出	3,044	35,597	
	経常利益		211,103
特別損益の部	特別損失		
	固定資産売却損	2,743	
	固定資産除却損	10,336	
	クレーム損害負担金	6,661	
貸倒引当金繰入額	2,920		
税金等調整前当期純利益		188,441	
法人税、住民税及び事業税	90,850		
法人税等調整額	△ 14,941	75,909	
当期純利益		112,532	

(注) 記載の金額の千円未満は切り捨てて表示してあります。

## 連結剰余金計算書

(単位：千円)

科 目	金 額
(資本剰余金の部)	
資本金	420,590
資本剰余金	420,590
(利益剰余金の部)	
利益剰余金	1,450,179
利益剰余金	112,532
利益剰余金	44,544
利益剰余金	1,518,167

## 連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位：千円)

科 目	金 額
営業活動によるキャッシュ・フロー	314,272
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 355,777
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 128,629
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 10,427
現金及び現金同等物の減少額	△ 180,562
現金及び現金同等物の期首残高	876,821
現金及び現金同等物の期末残高	696,259



# FINANCIAL STATEMENTS

## 単体貸借対照表 (平成16年3月31日現在)

(単位：千円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
流 動 資 産	2,616,303	流 動 負 債	1,362,270
現 金 及 び 預 金	1,156,056	支 払 手 形	376,632
受 取 手 形	441,503	買 掛 金	112,153
有 価 証 券	785,286	短 期 借 入 金	246,800
製 品	30,007	一 年 内 返 済 予 定 の 長 期 借 入 金	316,218
原 材 料	40,448	未 払 金	84,152
仕 掛 品	36,077	未 払 費 用	123,064
貯 蔵 品	73,188	未 払 法 人 税 等	42,308
前 払 費 用	6,556	預 り 金	5,200
繰 延 税 金 資 産	12,902	設 備 支 払 手 形	55,611
そ の 他 金	38,684	そ の 他	127
貸 倒 引 当 金	6,692	固 定 負 債	1,369,711
固 定 資 産	△ 11,100	社 債	700,000
有 形 固 定 資 産	2,502,870	長 期 借 入 金	359,940
建 物	1,960,440	退 職 給 付 引 当 金	192,239
構 築 物	815,463	役 員 退 職 慰 労 引 当 金	117,532
機 械 及 び 装 置	48,072		
車 両 及 び 運 搬 具	426,830	負 債 合 計	2,731,982
工 具 器 具 及 び 備 品	6,908		
土 地	95,738	資 本 の 部	
建 設 仮 勘 定	559,205	資 本 金	479,350
無 形 固 定 資 産	8,221	資 本 剰 余 金	420,590
ソ フ ト ウ ェ ア	4,005	資 本 準 備 金	420,590
そ の 他	637	利 益 剰 余 金	1,467,862
投 資 そ の 他 の 資 産	3,367	利 益 準 備 金	36,200
投 資 有 価 証 券	538,424	任 意 積 立 金	833,223
子 会 社 株 式	177,289	特 別 償 却 準 備 金	33,223
長 期 前 払 費 用	30,600	別 途 積 立 金	800,000
繰 延 税 金 資 産	5,592	当 期 未 処 分 利 益	598,439
長 期 性 預 金	80,726	株 式 等 評 価 差 額 金	40,049
保 険 積 立 金	90,020	自 己 株 式	△ 20,660
そ の 他 金	163,186	資 本 合 計	2,387,191
投 資 評 価 引 当 金	26,737	負 債 ・ 資 本 合 計	5,119,173
貸 倒 引 当 金	△ 11,550		
	△ 24,180		
資 産 合 計	5,119,173		

(注) 記載の金額の千円未満は切り捨てて表示してあります。



# 単体損益計算書 (平成15年4月1日から平成16年3月31日まで)

(単位：千円)

科 目		金 額	
経常 損益の部	営業収益		3,405,568
	営業費用		
	売上原価	2,268,618	
	販売費及び一般管理費	927,954	3,196,573
	営業利益		208,995
営業外 損益の部	営業外収益		
	受取利息及び配当金	1,778	
	雑収入	14,024	15,802
	営業外費用		
	支社 払利息	9,336	
社債 債発行利息	7,410		
雑 債発行費	3,649		
	雑 債発行費	18,432	38,830
	経常利益		185,968
特別 損益の部	特別損失		
	固定資産売却損	2,743	
	固定資産除却損	10,336	
	クレーム損害負担金	6,661	
	貸倒引当金繰入額	2,920	22,661
税引前当期純利益	法人税、住民税及び事業税	85,171	163,307
	法人税等調整額	△ 12,120	73,050
	当期純利益		90,256
	前期繰越利益		508,182
	当期末処分利益		598,439

(注) 記載の金額の千円未満は切り捨てて表示してあります。

## 利益処分

(単位：円)

摘 要	金 額
当期末処分利益	598,439,184
特別償却準備金取崩	8,356,644
計	606,795,828
これを次のとおり処分いたします	
利益配当金	44,436,880
(1株につき10円)	
特別償却準備金	3,003,999
次期繰越利益	559,354,949



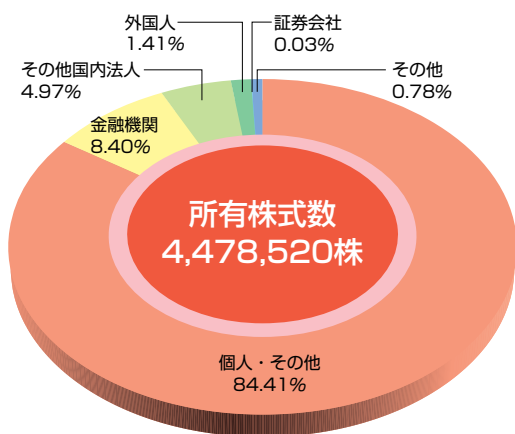
## SHARE INFORMATION

- 会社が発行する株式の総数 11,500,000株
- 発行済株式の総数 4,478,520株
- 株 主 数 1,069名

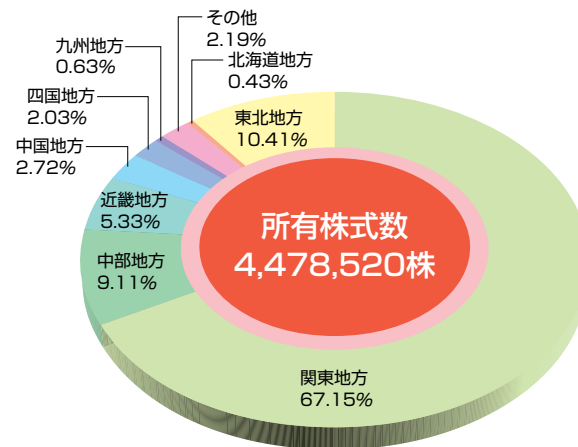
### ● 大 株 主

株 主 名	当社への出資状況	
	持 株 数	議 決 権 比 率
伊 藤 巖	1,149,028 株	26.6 %
白 井 精 一	192,500	4.5
室 井 豊	134,500	3.1
朝日ラバー従業員持株会	126,028	2.9
有限会社本宮商事	124,500	2.9
株式会社武蔵野銀行	113,000	2.6
株式会社東邦銀行	97,400	2.2
伊 藤 潤	80,500	1.9
第一生命保険相互会社	78,000	1.8
横 山 林 吉	68,960	1.6

### ● 所有者別株式の分布状況



### ● 地域別株主の分布状況





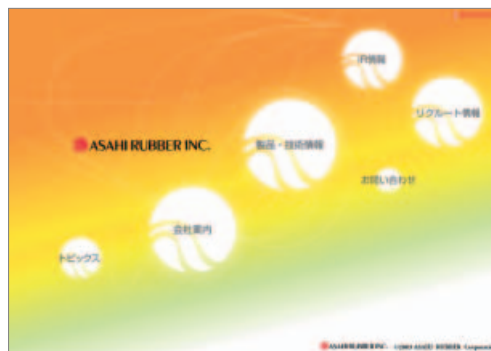
## CORPORATE DATA

- ◆商号 株式会社朝日ラバー
- ◆所在地 埼玉県さいたま市大宮区土手町2丁目7番2
- ◆設立 昭和51年6月
- ◆資本金 4億7,935万円
- ◆従業員数 163名（平成16年3月31日現在）
- ◆主な事業内容 工業用ゴム製品の製造・販売
- ◆主な取引銀行 みずほ銀行／東京三菱銀行／武蔵野銀行／東邦銀行／常陽銀行／埼玉りそな銀行
- ◆主な事業所  
本社 埼玉県さいたま市大宮区土手町2丁目7番2  
大阪営業所 大阪府大阪市城東区蒲生1丁目12番10号  
福島工場 福島県西白河郡泉崎村大字泉崎字坊頭窪1番地  
第二福島工場 福島県西白河郡泉崎村大字泉崎字山崎山1番地3  
上海駐在事務所（中国上海市）  
子会社 ARI INTERNATIONAL Corp.（米国イリノイ州）  
（株）ファインラバー研究所（福島県西白河郡泉崎村）

### ◆役員（平成16年6月24日現在）

取締役会長	伊藤	巖
代表取締役社長	横山	林吉
常務取締役	伊藤	潤
常務取締役	中沢	章二
取締役	亀本	順志
常勤監査役	塙	雅夫
監査役	柳沼	晃
監査役	河野	先

### ◆ホームページ <http://www.asahi-rubber.co.jp>



当社のホームページでは、株主の皆様へ、財務情報を始め、さまざまな会社情報や製品紹介を行っております。ぜひ一度ご覧ください。

また、決算公告に代えて貸借対照表及び損益計算書の開示を当社ホームページで行っております。

<http://www.aspir.co.jp/kessan/5162/5162.html>



## SHAREHOLDER INFORMATION

### 株 主 メ モ

決 算 期	毎年3月31日
定 時 株 主 総 会	毎年6月開催
配当金受領株主確定日	毎年3月31日及び中間配当金を支払う時は毎年9月30日
基 準 日	毎年3月31日
名 義 書 換 代 理 人	その他必要があるときは、あらかじめ公告いたします。 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱信託銀行株式会社
同 事 務 取 扱 場 所	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱信託銀行株式会社 証券代行部
同 取 次 所	三菱信託銀行株式会社 全国各支店
（郵便物送付先）	〒171-8508
（および）	東京都豊島区西池袋一丁目7番7号
（電話照会先）	三菱信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-707-696（フリーダイヤル）
公 告 掲 載 新 聞	日本経済新聞

当社は決算公告に代えて、貸借対照表及び損益計算書を  
当社のホームページ  
<http://www.aspir.co.jp/kessan/5162/5162.html>  
に掲載いたしております。



〒330-0801 埼玉県さいたま市大宮区土手町2丁目7番2  
TEL 048-650-6051 FAX 048-650-5201  
<http://www.asahi-rubber.co.jp>